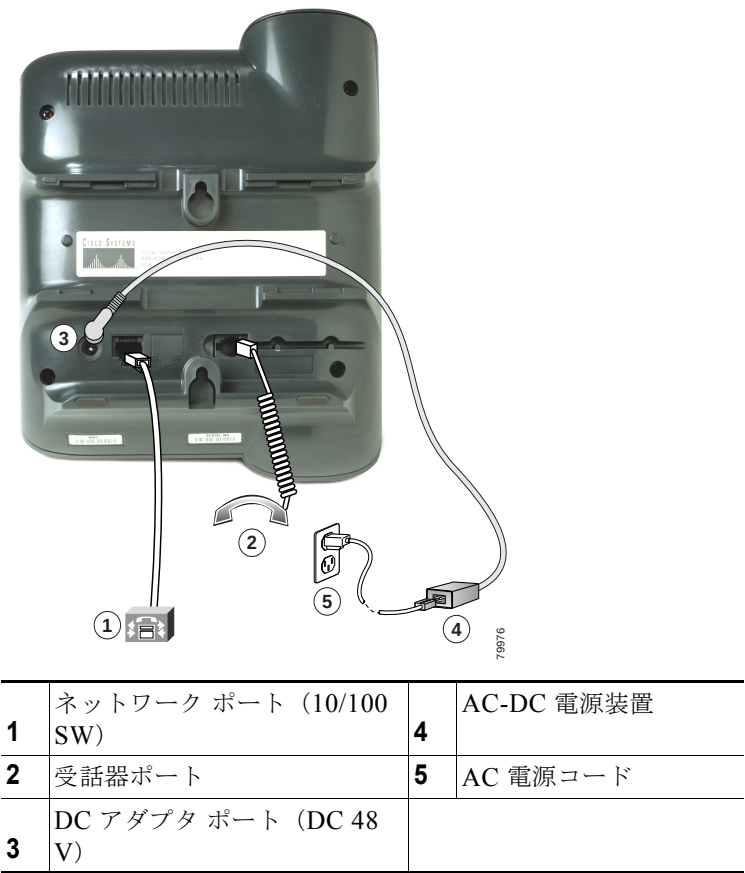


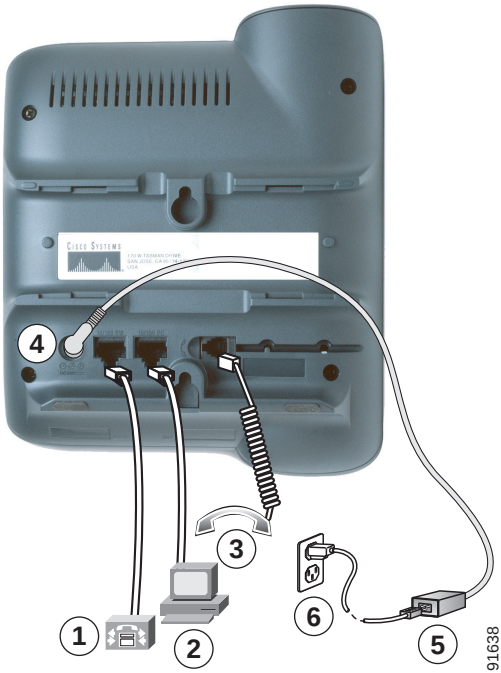
電話機の接続

通常は、システム管理者が新しい Cisco Unified IP Phone を企業 IP テレフォニー ネットワークに接続します。それ以外の場合は、次の図を参照して、電話機を接続してください。

次の図および表は、Cisco Unified IP Phone 7906G の接続方法を示しています。



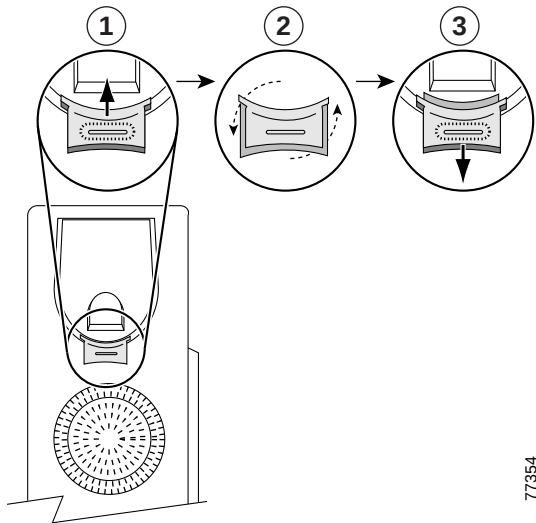
次の図および表は、Cisco Unified IP Phone 7911G の接続方法を示しています。



1	ネットワーク ポート (10/100 SW)	4	DC アダプタ ポート (DC 48 V)
2	アクセス ポート (10/100 PC)	5	AC-DC 電源装置
3	受話器ポート	6	AC 電源コード

ハンドセット受け台の調節

電話機を接続する際、ハンドセットが滑り落ちないように、受け台を調整できます。次の表に手順を示します。



77354

1	ハンドセットを外し、ハンドセットの受け台から四角いプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回します。
3	タブをハンドセットの受け台に再び差し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットをハンドセット レストに戻します。

TAPS を使用した登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS; 内線番号自動登録システム) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

ヘッドセットについて

シスコシステムズでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内では若干のテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのバンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。

シスコシステムズでは、不要な **Radio Frequency (RF)** (無線周波数) および **Audio Frequency (AF)** (可聴周波数) が遮蔽された高品質のヘッドセットなどの外部デバイスの使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音やエコーが入ることもあります。またハム音が、相手方だけに聞こえる場合もあれば、**Cisco IP Phone** のユーザおよび相手方の両方に聞こえる場合もあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。詳細については、「[外部デバイスの使用方法](#)」(P.3) を参照してください。



(注) 場合によっては、ハム音は、ローカル電源キューブやパワー インジェクタを使用することにより、軽減または除去が可能です。

このように、**Cisco Unified IP Phone** の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する可能性があるため、すべての環境に適した単一のヘッドセットは存在しません。

ヘッドセットの購入を決定し多数展開する前に、それらのヘッドセットについて予想される環境でテストパフォーマンスを測定することを推奨します。

音質に対するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的なパフォーマンスより先に、まずヘッドセットによって提供される音が、ユーザとリモートの通話相手にとって良質のものである必要があります。音質の判断は主観によるので、シスコが特定のヘッドセットのパフォーマンスを保証することは不可能です。しかし、大手メーカーのさまざまなヘッドセットについて、**Cisco Unified IP Phone** で良好に作動することが報告されています。詳細については、各メーカーのサイトを参照してください。